

がんになる仕組み

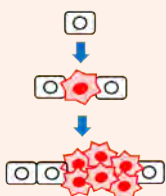
私たちの体は、約37兆個の細胞からできているといわれています。その細胞たちは、遺伝子をコピーして細胞分裂を繰り返しながら生命を維持しています。



●遺伝子の変異から腫瘍ができる

正常な細胞は、遺伝子の働きにより、体の状態に合わせて増殖を調節しています。しかし、細胞分裂の過程で遺伝子に「傷」が生じると、増殖をコントロールできなくなります。

この傷を遺伝子の「変異」といい、この変異によって異常な細胞が無秩序に増え続け、塊となるのが「腫瘍」です。腫瘍の中でも、細胞が周囲に広がったり、他組織に転移したりするものを「がん(悪性腫瘍)」といいます。



●がんの早期発見には定期的な検診が大切

遺伝子の傷は、喫煙、ウイルスや細菌などの感染、化学物質など、外的要因で生じることがあります。また、がんの初期は、症状がほとんどありません。

そのため、がんを早期に発見するには定期的にがん検診を受けることが大切です。

【問い合わせ】健康づくり課(☎41-3614)

市民生活総合相談センターをご存じですか？

■こんなことをしています

○契約トラブルや借金問題など、生活上の困り事についてのお話を消費生活相談員が伺い、解決策や対処方法を助言しています

○社会変化に伴い、消費者トラブルもますます多様化しています。そこで、相談センターでは最新の契約トラブルなどの事例を、広報は

なまきや市ホームページ、エフエムワンなどでお知らせしたり、出前講座を行ったりして注意喚起をしています

■消費生活相談員の役割

○電話や窓口で相談を受け付け、トラブルの解決策や、対処方法のアドバイスをしています。また、相談内容によっては、弁護士や専門機関などを紹介しながら問題解決をサポートします

○契約トラブルでは、正確な

聞き取りが必要です。そのため、原則、契約の当事者からお話を伺っています

○相談者が相手方と解決に向けた自力での交渉が難しい場合は、必要に応じて消費生活相談員が相手方との交渉を行います。その場合、契約に至った経緯などを正確に把握するため、書面の作成をお願いしています

■相談したいときは

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

市民生活コーナー



水洗化を進めましょう 浄化槽設置の支援を拡充しました

【問い合わせ・申請】 新館下水道課
(〒025-8601花城町9-30 ☎41-3564)

市では、各家庭の水洗化を推進するため、浄化槽を設置する費用について「浄化槽設置整備事業補助金」により支援を行っています。

本年度から制度を拡充し、くみ取り便槽や単独処理浄化槽の撤去費用などを補助の対象に追加しました。

■対象者 公共下水道、農業集落排水事業の処理区域を除く区域で、既存の住宅などに浄化槽を設置する人

※居住している借家に浄化槽を設置する場合も補助金の対象となりますが、大家さんの承諾が必要です

■申請期限 12月15日(月)

※予算の執行状況により予定より早く終了する場合があります

■申請方法 申請書に必要事項を記入の上、必要な書類を添えて上記へ申請

■補助対象経費、補助率、上限額

	補助対象経費	補助率	上限額
①	浄化槽の設置費用	補助対象経費の10分の9	5人槽… 87.7万円 7人槽…106.6万円 10人槽…148.5万円
②	くみ取り便槽の撤去費用	補助対象経費の10分の10	9万円
③	単独処理浄化槽の撤去費用	補助対象経費の10分の10	12万円
④	排水設備工事	補助対象経費の10分の10	30万円

※②～④は本年度からの制度拡充部分

*制度の概要や申請書類について詳しくは、市ホームページをご覧ください



あなたの「学びたい！」を応援 生涯学習講座を開講します

【問い合わせ】 本館生涯学習課(☎41-3587)、
まなび学園(☎23-4234)

市では、多彩な内容を幅広く学ぶことができる生涯学習講座を開講しています。講座を通じて、新しい学びとの出会いや仲間と交流する楽しさを感じてみませんか。

■本年度開講予定の主な生涯学習講座

- 富士大学花巻市民セミナー
- イーハトーブ花巻カレッジ
- はなまき賢治セミナー
- 食育教室
- プチスポーツ講座
- はじめてさんのDIY教室
- アートの「鑑賞」を学ぶ教室
- クラフト講座
- 庭木の手入れ教室 など

※開催日程や内容は、随時広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします



▲昨年度の様子(富士大学花巻市民セミナー)



▲昨年度の様子(プチスポーツ講座)

はなまきまなびガイド

ウェブサイト「はなまきまなびガイド」には、市の生涯学習に関するさまざまな情報(指導者、視聴覚教材、団体やサークル、学習相談機関など)を掲載しています。



地域おこし協力隊が退任します

令和4年5月に着任した赤津有美隊員が、4月30日付で退任します。退任する赤津隊員にこれまでの活動の振り返りを聞きました。



成島和紙の原料も技法も
未来へ受け継ぐ



東和地域で開催した
夢を灯り展。今後も開
催を目指します

協力隊としての3年間があつという間に過ぎました。充実した活動を送ることができたのは、市民の皆さんのご理解やご協力があったからです。伝統工芸「成島和紙」に携わる中で、手を差し伸べてくださった全ての皆さんに改めて感謝いたします。

退任後は引き続き花巻に住みます。築150年の古民家を改修しながら、春から秋は山や畑で和紙の原料を中心とした工芸作物の栽培や手仕事を、冬は採れた原料で紙を漉く、そんな理想の営みを目指していきます。

「手すき和紙の職人になりたい」という3年前に抱いていた思いは、地域おこし協力隊の活動終了後から本番に入っていきます。これからも皆さんのご協力をいただきながら、夢に向かって邁進したいと思います。